

U14c 可変宇宙項による宇宙背景放射への影響

中村理央、橋本正章 (九大理)、市来淨與 (東大天文)

近年の Ia 型超新星の観測は、宇宙項の存在を強く示唆している。しかしその実態は解明されておらず、さらに宇宙項を時間不変量として扱おうと「宇宙項問題」が解決出来ない。そこで、様々な時間依存性をもつ宇宙項が提案されている。

宇宙項がスケール因子依存性を持つ可変宇宙項モデルは宇宙の熱的進化に影響を与え、特に再結合期以降に影響があることが示されている (Kimura et al 2001.; Hashimoto et al. 2003)。本研究では、可変宇宙項が宇宙背景放射へ与える影響を調べ、さらにその整合性を調べるため WMAP などの観測結果との比較を行った。その結果を発表する。